

市民フォト鹿児島

itizen
Photo
Magazine

No.37

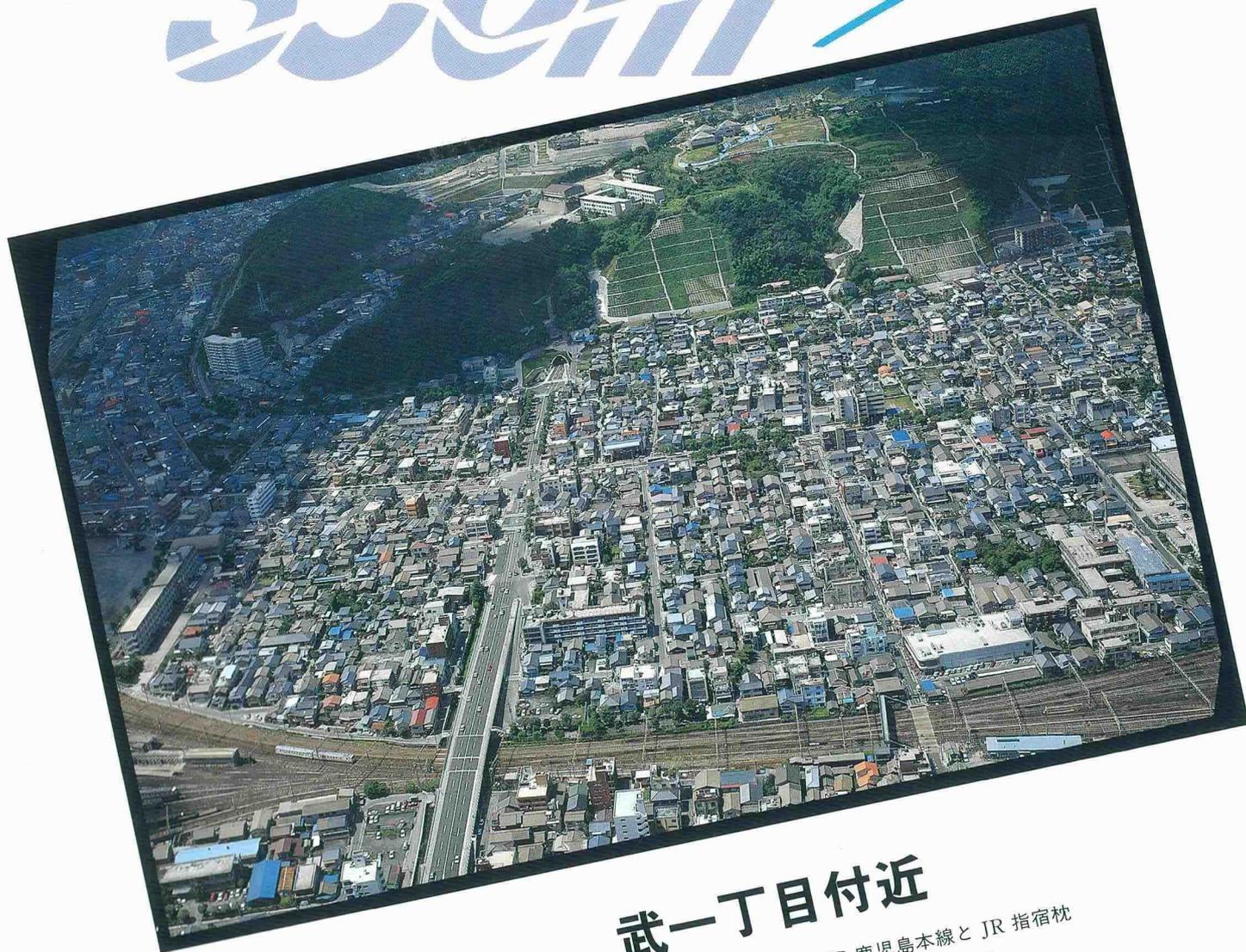
平成元年7月1日発行

まぶしい太陽と錦江湾の海の青。そして、目の前にそびえる桜島が織りなす美しい景観。忙しい日常を忘れてマリンスポーツで楽しむひとときは最高だ。潮風の香りと光のシャワーを浴びると、たちまち心もトロピカル気分！ この夏、もっと海と仲良くなれそう。(モデルはミス鹿児島の青木康乃さん)

●特集

第二世紀への船出華やかに





武一丁目付近

手前に見えるのが、JR 鹿児島本線と JR 指宿枕崎線で、^{あけぼの}両線の上を曙陸橋がまたいでいる。この地区は、西鹿児島駅の西側に位置し、地区の一部は、西鹿児島駅地区総合整備構想の対象地区となっている。昨年4月には西鹿児島駅の東西地区の一体化、新幹線乗り入れへの期待を込めて、西鹿児島駅構内自由通路が完成した。中洲通りを、写真のほぼ中央 武岡トンネル方向へ、建部神社前交差点を過ぎると国道3号鹿児島バイパスだ。同バイパスは、鹿児島インターで九州縦貫自動車道、指宿有料道路とドッキングしている。三線は昨年3月29日同時開通した。

CONTENTS

わがまち高度350メートル P2

特集 / 第二世紀への船出華やかに P3~9

クローズアップ (高木章雄さん) P10~11

学校探訪 (伊敷小学校) P12~14

ふるさとの史跡 (伝伊集院小伝次の墓) P15

集えば楽し (鹿児島ファミリーマジッククラブ) P16~17

市民のひろば (新たな飛躍に向けて) P18~20

ハロー鹿児島 (ロイ・ジョーンズさん) P21

あなたのフォトサロン

流れる時を止めて 輝く今を残したい P22~23

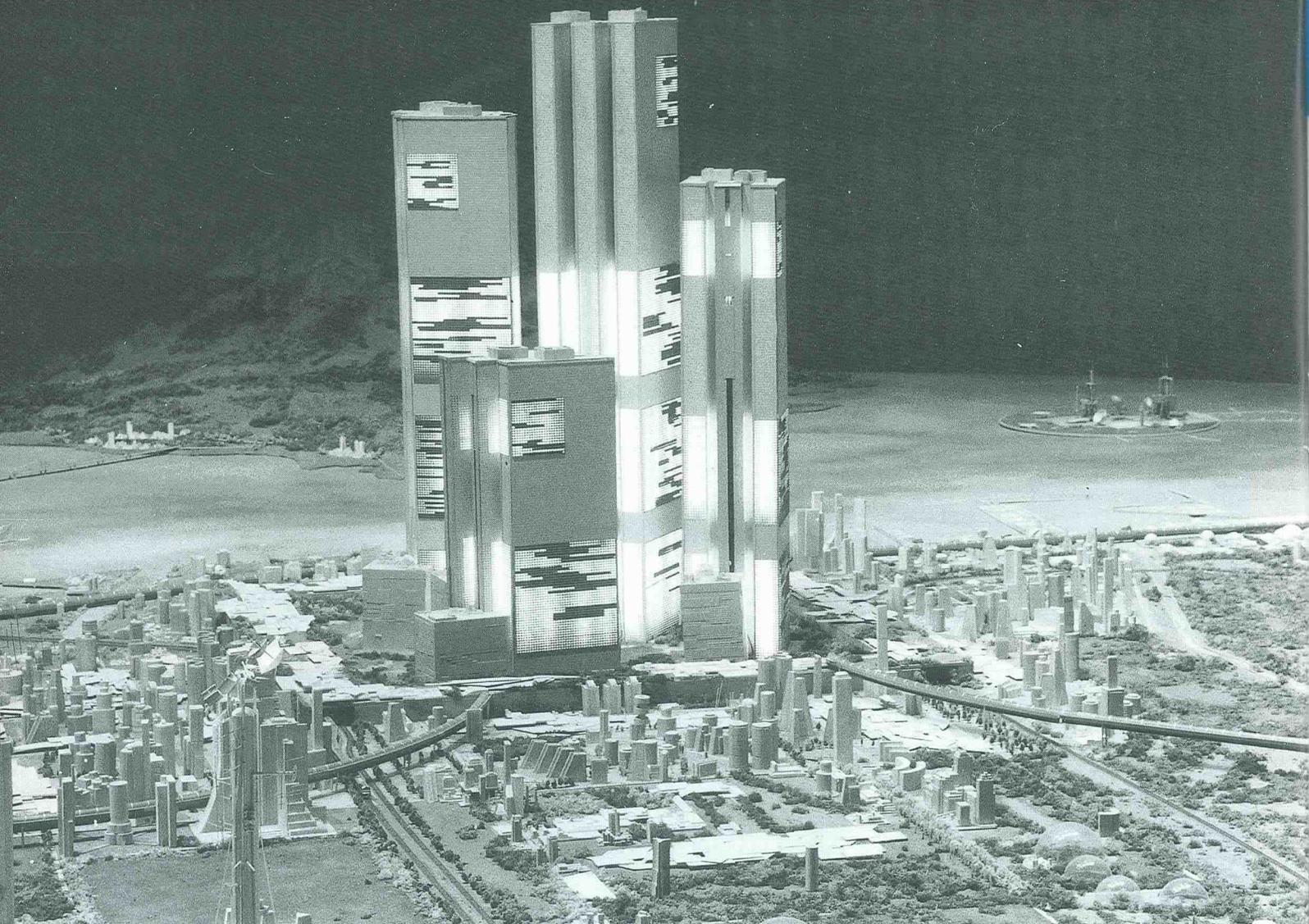
泰山荘デイ・サービスセンター P24~25

わたしの散歩道 (心むラインにも似た甲突河畔) P26~27

カメラトピックス P28~29

あの店この店 (インド料理の店 サラ) P30

市立美術館 (窓辺の婦人) P31



これが未来の鹿児島だ！——「21世紀への提言」に寄せられた
子供たちの夢を表現したジオラマ（立体模型）

第二世紀への船出華やかに

去る四月一日、鹿児島市は市制施行百周年を迎え、次の百年へ第一歩を踏み出しました。

この歴史的に大きな節目の日に市民文化ホールでは、市制百周年記念式典が、駐日オーストラリア大使夫妻や姉妹・友好・兄弟都市の各市長をはじめ、内外から多くの来賓の方々の参列をいただき華やかに開催されました。

また、記念式典翌日の二日に行われた姉妹友好都市市長会議「ふれあいサミット」では、パース市、長沙市、本市の三市長が、今後さらに友好親善交流を深め、世界の平和に貢献することを盛り込んだ「鹿児島宣言」に合意しました。

このほか、「歓迎の夕べ」「レセプション」「市民交流会」などの記念行事もありました。

火山と未来をテーマに三月十六日開幕したサザンピア21。この市制100周年記念事業のメインイベントは、目標を上回る八十八万人もの皆さんにご覧いただき、五月十日四日盛況のうちに六十日間の幕を閉じました。

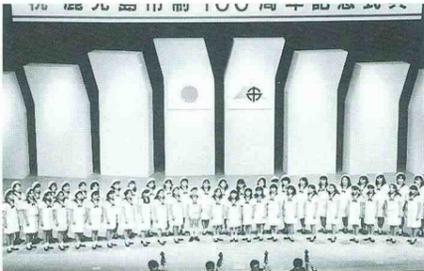
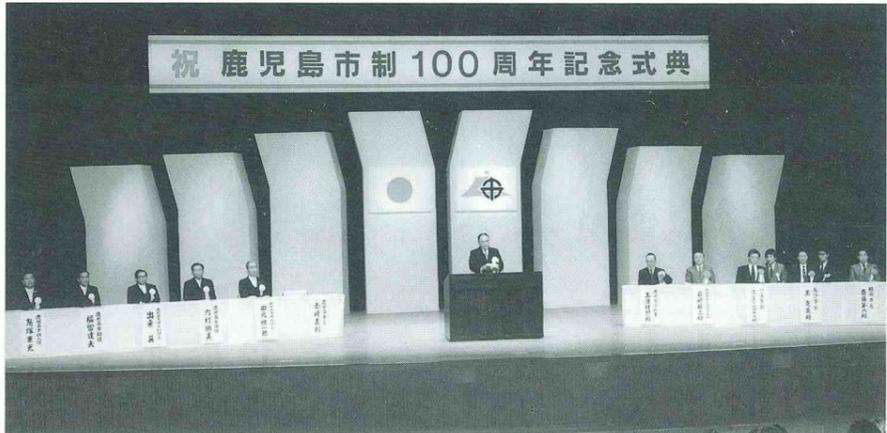
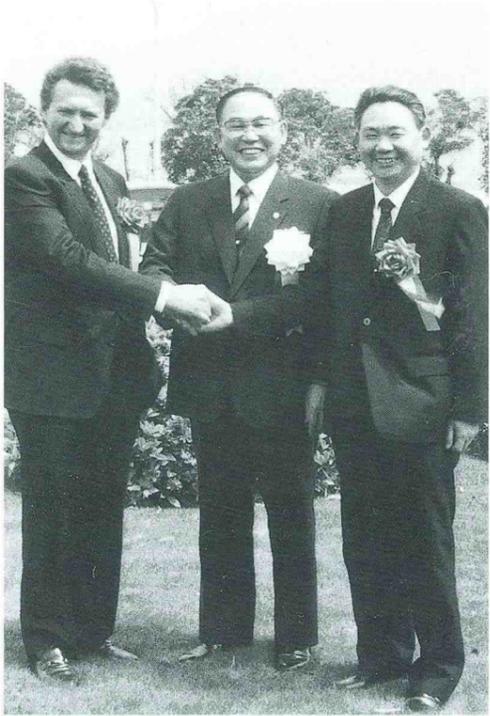
このようにして鹿児島市は、第二世紀という大海原へ華やかに、そして力強く船出しました。

今回の特集では、記念すべき平成元年四月一日を挟んで行われた市制100周年記念行事とサザンピア21を振り返ってみました。

盛大に 鹿児島市制100周年記念式典

平成元年四月一日、鹿児島市は市制施行百周年の記念すべき日を迎え、午前十時から与次郎二丁目の鹿児島市民文化ホールで、盛大に記念式典が行われました。

式典には、土屋県知事や岩崎商工会議所会頭、市長OB、議員OBのほか、国外の姉妹・友好都市、国内の兄弟都市の市長、駐日オーストラリア大使ら約千五百人が出席。百年の歴史を振り返り、本市をここまで築きあげた先人たちの英知と努力に感謝すると共に、二十一世紀へまた、次の百年へ向けての新しい鹿児島市を創造するために、決意と発展を誓い合いました。



第二世紀への船出祝う

レーザー光線と映像による華やかなオープニングに続いて、赤崎義則市長が激動の百年間を振り返り、「鹿児島市が日本の南の起点として、我が国や世界の発展に貢献できるよう、第二世紀の輝かしい未来を切り開くため、市民の皆さんと共に全力を尽くしたい」と式辞を述べました。

あいさつや来賓祝辞、姉妹都市オーストラリア・パース市長の祝いの言葉が続き、映像「わがま100年」の上映、「二十一世紀への提言」論文の表彰のあと、新成人二人による「力を合わせて栄光ある鹿児島市第二世紀を創造していこう」との市民宣言が読みあげられ、万歳三唱で式典を締めくくりました。

真の友好を深めあつた

「ふれあいサミット」

式典に引き続き午後からは、近くのホテルに会場を移して「記念レセプション」が開かれ、和やかに交流と親ほくを深め合いました。

宴は、ヨットによる太平洋女性単独往復横断を成し遂げた今給黎教子さんも参加しての鏡割りで開宴。英語・中国語・日本語が飛び交う国際的雰囲気の中で進められ、ステージでは、太鼓の演奏やラテン調おはら節などの郷土芸能が宴に花を添えました。

翌二日には、姉妹・友好都市市長会議「ふれあいサミット」が開かれました。これは、各市のトップが揃ったのを機に、今後の友好交流のあり方を話し合おうというもの、「相互の友好親善を通じ世界平和に貢献する」とした鹿児島宣言を採択しました。

百周年交流行事はこのほか、式典に先立つ三月三十一日に「歓迎の夕べ」、締めくくりは四月二日に「市民交流会」が開かれました。

国内外の列席者と楽しく交歓が続く中、未永い友好を誓い合いながら、交流の夕べは華やかにふけていきました。

市民宣言を読み上げて

出来栄に満足しています

本番のときより、前日のほうが緊張していたように思います。

二人で練習できたのは三回だけでしたが、出来栄には我ながら満足しています。家族も喜んでくれました。とても貴重な経験でした。

最近、鹿児島が変わってきたなあと感じます。国道10号線の館之馬場通りのガス灯や市電のセンターポールなどもすてきですね。観光の目玉としても期待できると思います。

また、そのほか県外からもレジャーに人が集まる施設もほしそうですね。

二十一世紀へ向けた、私たちの鹿児島市のまちづくり、今回できた貴重な経験を一つの契機として、もっと関心を持っていきたいと思っています。



野口祐一さん
(20歳) (山形屋)

読み上げたあとの気分はそう快でした

小学校のときに合唱部に入っていたので、大きな舞台に立つことは初めてではなかったのですが、スポットライトを浴びたときは、やはり緊張しました。

心の中で自分に「冷静に、冷静に」と言い聞かせて宣言文を読み上げました。でも読み終えたときはとても気持ち良かったです。

今、就職して三年目になりますが、たくさんの人と出会いました。これからの人との出会いを大切に、いろいろなことを一つ一つ勉強しながら、自分自身を高める努力をしたい、そして、少しでも社会に貢献できたいと思います。

また、これからの鹿児島市ですが、中央との結びつきをもっと強くするために、早い時期の新幹線乗り入れなどを期待しています。



東郷真美さん
(20歳) (鹿児島銀行)

市民宣言(全文)

わたくしたちのまち鹿児島市は、本日、市制施行100周年を迎えた。

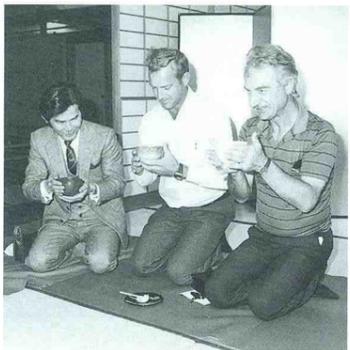
雄大な自然と豊かな歴史にはぐくまれた鹿児島市は、この100年の間に、桜島大爆発をはじめ第2次世界大戦における戦災など幾多の困難と試練に遭遇したが、先人の郷土を愛する情熱とたゆまぬ努力により、これらを乗り越えてきた。

そして、いまや、人口53万余を擁し、県都として、また、南九州の中核都市としての役割を担うとともに、風格と活力ある市民都市を目指して発展しつつある。

わたくしたちは、こんにちの鹿児島市を慈しみ育ててきた先人の努力に、深い敬意と感謝の念を捧げるものである。

わたくしたちは、先人から受け継いだこのまちを、世界に開かれた個性あふれる魅力的な鹿児島市として、さらに発展させ、誇りをもって、次の世代に引き継いでいかなければならない。

わたくしたち53万市民は、市制施行100周年という歴史的節目に当たり、一人一人の創意とエネルギーを結集し、ともに力を合わせて、栄光ある鹿児島市第2世紀を創造していくことを、ここに宣言する。



こんな場面や光景もありました

鹿児島市の百歳の誕生日を祝うために来鹿された駐日オーストラリア大使夫妻、姉妹・友好・兄弟都市の市長一行は、式典や市民交流会などの記念行事の合間をぬって、市内やサザンピア21などを視察しました。

また、パース市や長沙市の方々には、お茶や着物など日本の伝統文化の体験もしていただきました。

公式行事を離れた皆さんの横顔をご覧ください。

パース市長、長沙市長のお祝いの言葉



チャールズ・フランシス・ホプキンス
パース市長

鹿児島市の輝かしい進歩と発展の市制百周年を祝う記念式典にお招きいただき、感謝いたしますとともに、光栄に存じます。

記念式典に友好・姉妹都市を代表する榮譽を担うことができ、私にとりましてかけがえのない誇りと喜びであります。

百年の時を刻むことは、本当に意義深いことです。特に、社会の多くの人々の幸福のために貢献し続けたという事実が、鹿児島市民の皆さんの英知とたゆまぬ努力で、この誇りうる鹿児島市を築かれたことに心から敬意を表します。

鹿児島市が、新たな市制二百年を目指して歩きはじめ、限らない繁栄と発展を遂げられることを、心からお祈りいたします。



王克英
長沙市長

長沙市と鹿児島市は友好都市締結以来、経済、文化、教育、衛生の各分野において数多くの意義深い交流を展開してまいりました。そして、今後も鹿児島市との協力関係を期待しています。

私にとって今回の訪問は二回目ですが、この活力に満ちたまちに住んでいる鹿児島市民は、勤勉で心の温かい方々であることに深い感銘を受けています。

我々はこのようすばらしい友人がいることをうれしく思っており、今回の訪問は、まるで自分の家に帰ったような気持ちでいっぱいです。

これらのすべては、両市のこれまでの友好交流の結果であり、両市民の友情のしるしであると思っています。

鹿児島市の今後のますますの発展を祈念いたします。

鹿児島宣言

日本国鹿児島市、オーストラリア国パース市、中華人民共和国長沙市は、それぞれの市民の幸福と都市の繁栄をめざし、限らない前進をしている。

鹿児島市の市制100周年記念式典に出席した姉妹都市・友好都市の市長は、「ふれあいサミット」を開催し、今後さらに友好交流を深めることについて意見を交換して、次のとおり合意した。

1. 今までの着実な友好交流の基盤の上に立って、今後さらにその輪を広げ、友情のきずなを強める。
 2. 特に、青少年教育、文化、スポーツ等の分野について、積極的に交流を推進する。
 3. 姉妹都市・友好都市は、お互いの友好親善を通じ、世界の平和に貢献する。
- 以上、「ふれあいサミット」の鹿児島宣言とする。

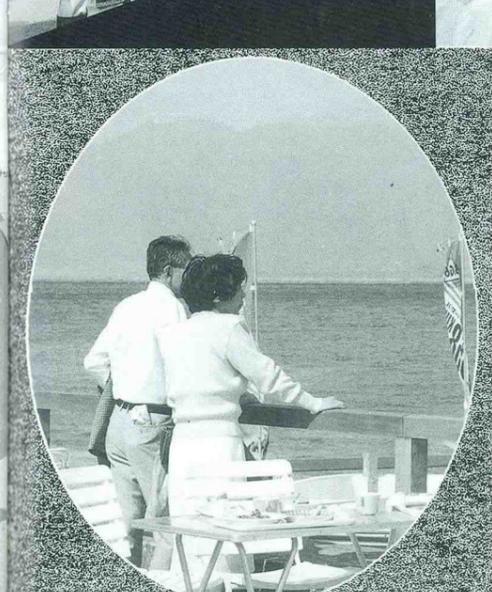
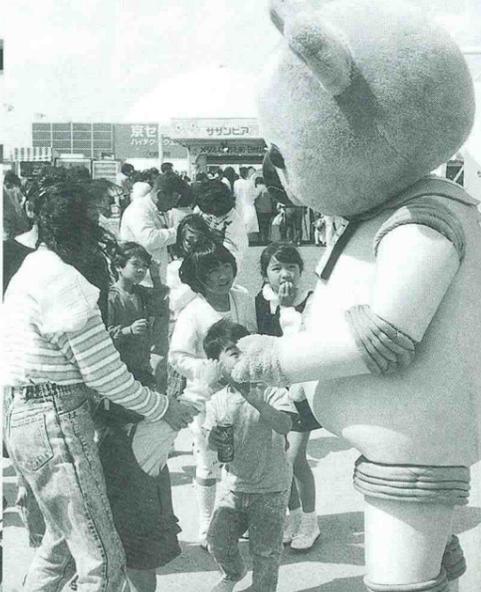
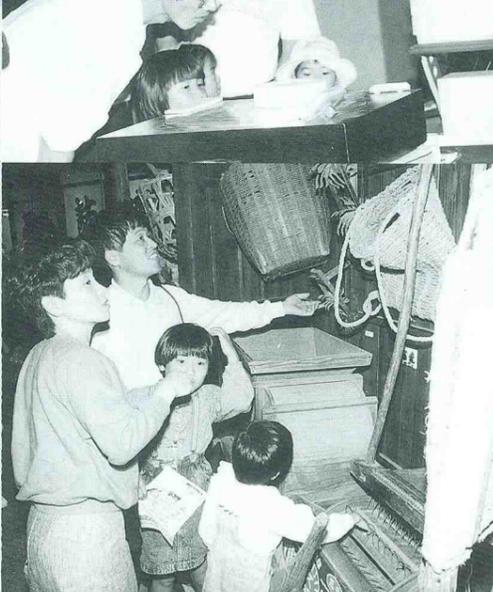
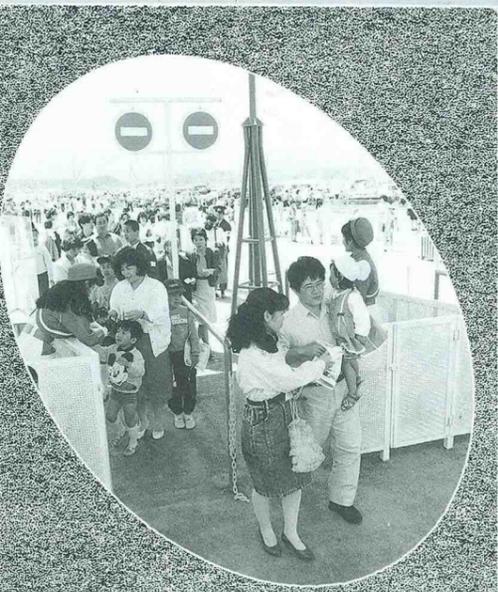
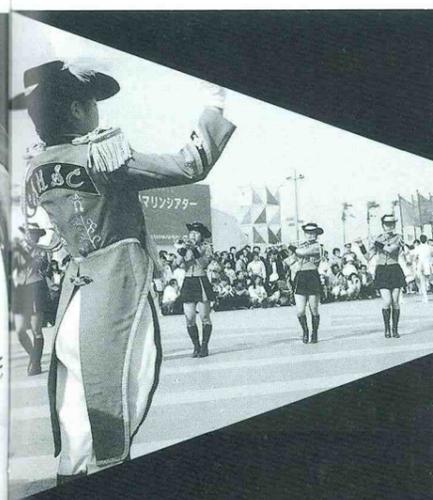
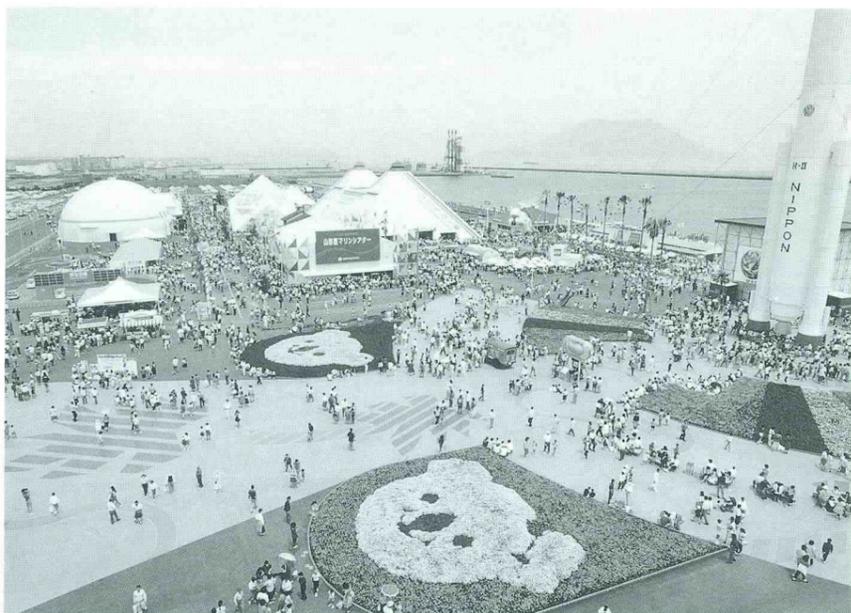
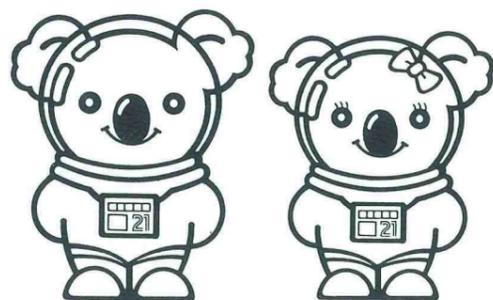
1989年4月2日

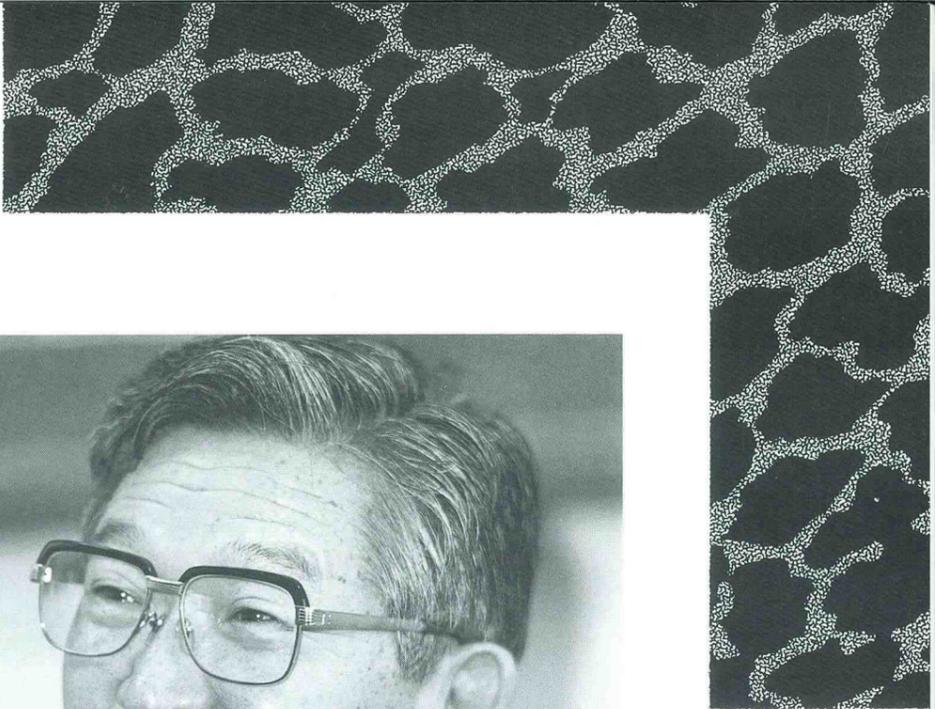
鹿児島市長 赤崎義明
パース市長 チャールズ・フランシス
長沙市長 王克英



サザンピア21の 熱い感動をいつまでも

懐かしい市民生活、鹿児島市の豊かな自然、先端技術の進歩と未来の鹿児島市への夢…。驚きと興奮にあふれたサザンピア21は、市民だけでなく、県内外、国外からの参加者の友情にも支えられました。あなたにも支えられましたか？





高木章雄

太平洋側を海洋プレートが走り、桜島という生きた教科書がある鹿児島は、グローバルな目で地球のしくみを研究する義務がある。

・日本初の鹿大火山学講座専任教授

たか あき お
高木章雄さん

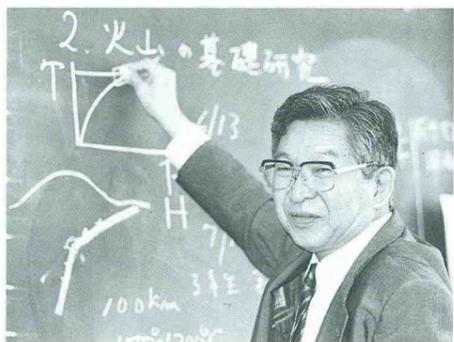
研究室には、封をしたままの段ボール箱が。本棚もすき間が目立つ。「まだ整理が終わってなくて」と差し出された名刺には、「鹿児島大学教授」とある。東北

大学から転任、この四月に五十三万市民の仲間入りをしたばかりだ。

鹿大理学部では昨年九月から、全国初の火山学講座がスタート。

東北大附属地震・噴火予知観測センター所長だった高木さんは、ほぼ月一回来鹿して教えていたが、四月から専任教授に。理学部地学科で上級生向けの授業を受け持っている。

昨年七月の「鹿児島国際火山会議」では二十八カ国から二千五百人が集まり、世界に「カゴシマ」の名を広めた。「いい学会でしたね。噴火や爆発など現象面だけでなく、被害や防災のあり方まで取り上げていた。火山とどう共存していくかを、これからは考えないといけないでしょう」と、鹿大行きを決めるきっかけになったという。



火山学は気象や地震とも深くかわり、いわば地球全体を相手にする。それだけに「霧島や阿蘇も含め、広く見ていきたい」というのが持論。特に九州は地震の観測網が整備されておらず、研究も十

分に進んでいないという。離島や太平洋まで描かれた自作の地図を指さし、「九州の下にはプレートがもぐり込み、地震や火山の噴火とかかわっています」と、視点はあくまで地球サイズだ。

以前、学生たちに「桜島と私」という題で作文を書かせたところ、「灰がふつてもやっぱり好き」「桜島を勉強したくて鹿大に来た」などの意見が相次いだ。「鹿児島の人にとって、あの山は偉大な先生のようなですね。五十万都市の近くで活動している火山は、世界でも例が少ない。確かに学術的に興味深いですよ」と、ゾッコンの惚れ込みようだ。

桜島対策は鹿児島市にとって永遠の課題。学術研究と行政の結びつきを求める声は、年々強まるばかりだ。「防災会議などで、県や市と協力する機会も増えてくるでしょう。私たちは研究成果やデータを提供しますから、行政はそれを生かしてほしい」と高木さん。火山をえぐる科学のメスが、鹿児島から九州へ、世界へ。紫綬褒章に輝いた「日本の頭脳」は、五十三万市民にとって頼もしい限りだ。

文/松尾泰 毎日新聞社記者



PROFILE

★長野県下諏訪町出身。東北大名誉教授。同大理学部教授と附属地震予知・噴火予知観測センター所長を併任していたが、昨年九月鹿大理学部の火山学講座開講に伴い、平成元年四月から正式に鹿大理学部教授に就任。文部省の測地震学会地震火山部会長も務め、五月には、紫綬褒章を受章。六十三歳。



学 校

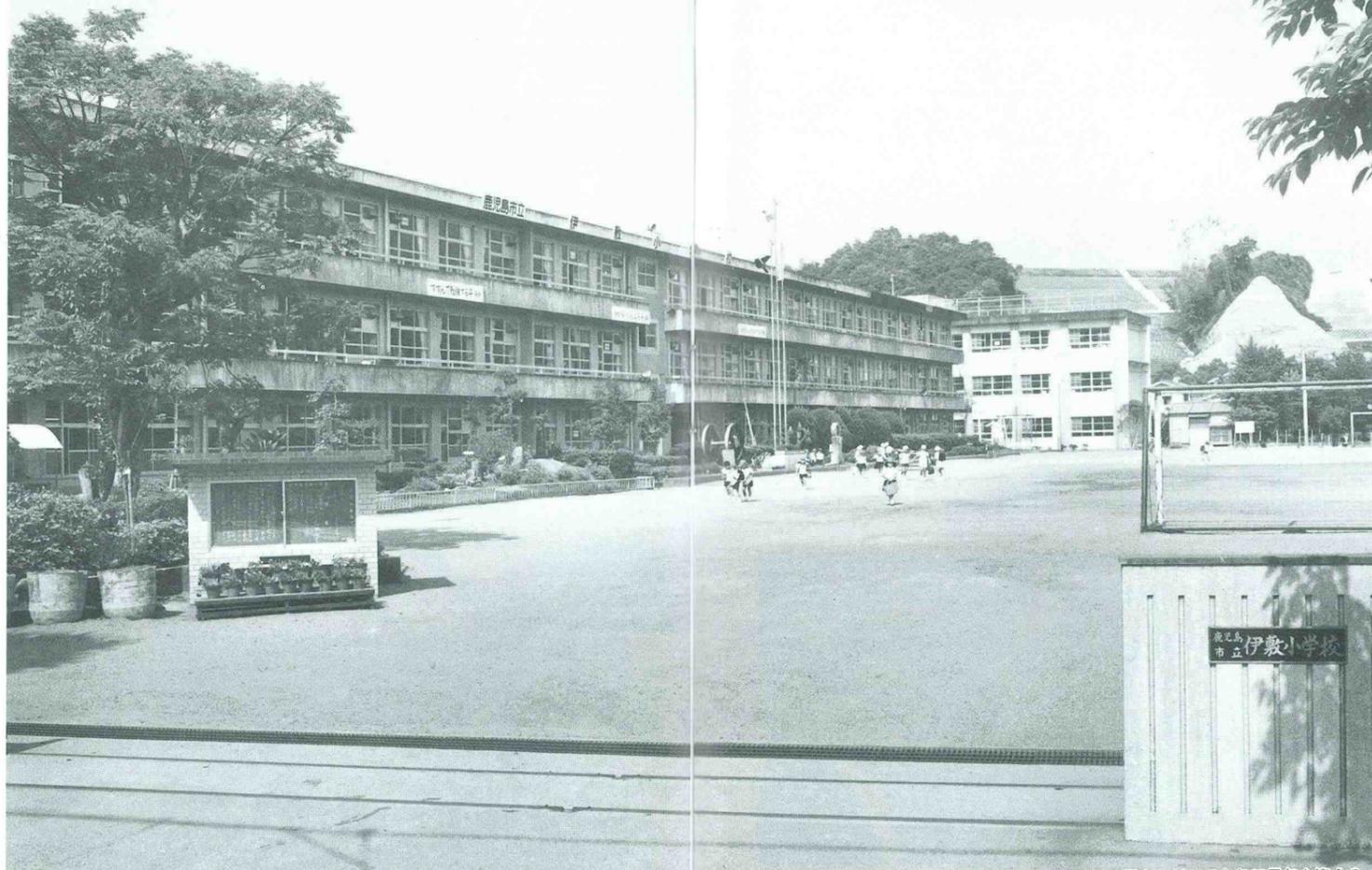


国際理解教育を進める「世界の国と手をつなごう週間」

わたしたちは、このすばらしい学校に在学していることを、とてもうれしく思います。これからも伊敷小の児童として、がんばっていきましょうと思います。

花だんも、とてもきれいで、たくさん賞をもらっています。

わたしは、このすばらしい学校に在学していることを、とてもうれしく思います。これからも伊敷小の児童として、がんばっていきましょうと思います。



伊敷小学校

- 創 立……明治25年10月1日
- 児童数……741人

歴史を刻んで今年97周年を迎える

探 訪



国道3号線と九州縦貫自動車道が近くを通る

緑を大切にする心が育つ一人一鉢運動



“おいしい！”きょうのメニューは手まぎずし



風をきってさっそうと〜自転車クラブ



コンクールで優秀な成績を修めてきた合唱隊

グッと力を入れて〜体力・運動能力調査



わたしたちの学校

六年 岩切 真美

わたしたちの伊敷小学校は、高速道路鹿兒島北インターの近くにあり、今年で、創立九十七周年になるとても伝統ある学校です。

近くには、水泳のオリンピックメダリスト故鶴田選手が水泳の練習をしていたという、甲突川が流れています。鶴田選手は、伊敷小学校出身の大先ばいで、わたしたちはとてもほこりに思っています。

わたしたちの学校は、給食でも有名です。「ランチルーム」というへやがあり、学級ごとに食べたり、低学年と一緒に食べたり

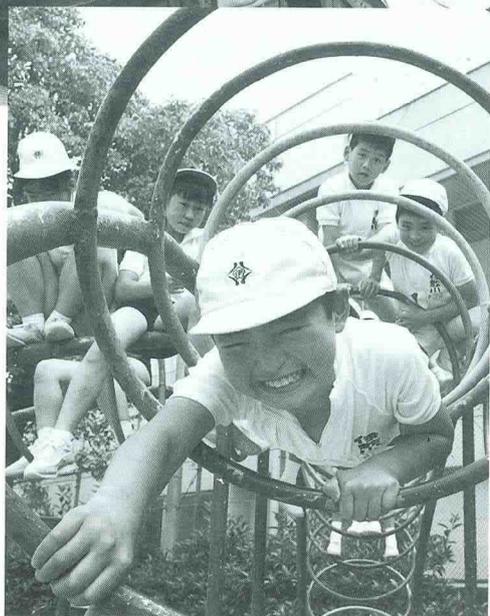
します。月二回、おかず二種類とデザート二種類、好きな方を二種類ずつ選ぶ「セレクトランチ」というのもあります。

学校行事の一つとして「世界の国と手をつなごう週間」というのがあります。その時は、給食も世界各国の料理です。そして、外国の人と一緒に会食することもあります。六年生が卒業する前には、給食の好きなメニューをアンケートとして、人気のあった献立をだして下さる「アンケート献立」、それに小学校最後の思い出として「バイキング会食」というのもあります。このように、伊敷小には、ほかの小学校にはない給食の行事がたくさんあります。

また、わたしたちの小学校には、自校体操というのがあります。二年ぐらい前から始まりました。先生が考えて下さった運動を、音楽に合わせてやります。大運動会の時には、全校児童で自校体操をします。



ランチルームでの給食をみんな楽しみにしている



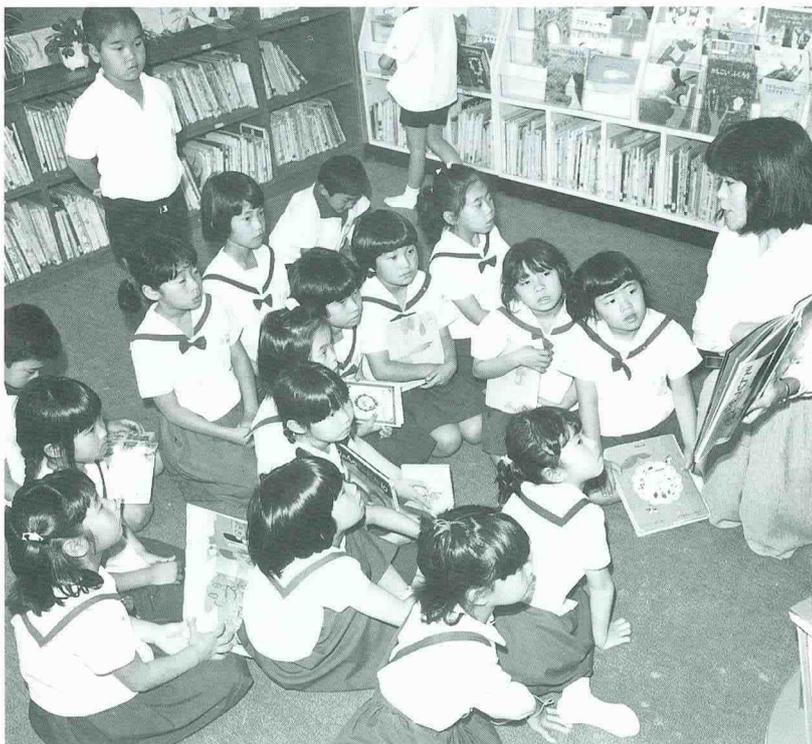
山坂達者ががんばりコースで鍛える



本の世界が広がる～おとぎの部屋で



先生の指導のほうがより真剣?! ～テニスクラブ



リラックスして読書が楽しめる「おとぎの部屋」



“伊敷小へようこそ”～世界の国と手をつなごう週間交流会

ふるさとの 史跡



伝伊集院小伝次の墓

市文化財審議会委員 木原 三郎

建立者 門の乙名名

この墓石は中山町滝ノ下にあり土地の人は「こちいどんの墓」と呼び、歯の神様として慕われている。三段の大きな台石に、高さ一・八メートルの竿石が立った堂々としたものである。

豊臣秀吉が征薩の時、人質として島津家の第一家臣・伊集院忠棟（幸侃）は大阪に連行された。幸侃はその後、島津氏に謀反を企てたということで、十八代家久の手で京都伏見で誅殺された。その子三郎五郎と千次郎、その母の三人は阿多に封じ込められた。

この兄弟の反乱を恐れた家久は

城下呼び出し、滝ノ下において伏兵により殺害させた。この墓は正徳二年（一七二二年）中村の庄屋と門の乙名たちによって建てられ、文政二年（一八一九年）庄屋平山甚兵衛が村人の安全を祈念して寄進した石灯籠もある。竿石の刻銘は風化して何も見えないが、以前は二名の居士銘が確認された。兄の小伝次は隼人の浜の市で殺され、墓は富隈城跡にある。二名の居士銘から見て弟の三郎五郎、千次郎の供養墓と思われる。この二兄弟の供養のため、後年の正徳二年建立されたものである。



庄屋平山甚兵衛寄進碑



伝伊集院小伝次の墓



サークル紹介

集えば楽し



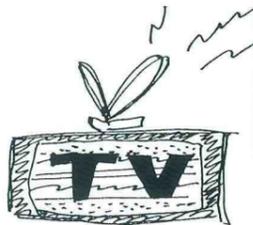
奇術の世界に
魅せられて
鹿児島ファミリーマジッククラブ

「人類だけが楽しめるもの それは、不思議さを楽しむこと…」
鹿児島ファミリーマジッククラブ（会長：溝口直隆さん）の会報の冒頭に書かれているメッセージです。

昭和57年に結成されたこのクラブの会員は現在18人。いずれも、なぜそんなことが…?という不思議の世界を通して、見る人に驚きと感動を与えるマジックの魅力にとりつかれた人たちばかり。「宴会の席の余興に」とか「女性にもてるように」といった男性から、「子供たちに見せてあげたい」という若い保母さんまで、文字通り老若男女の皆さんです。

奇術歴10年の溝口さんは、「マジックはコミュニケーションの道具として正しく理解すれば、本当に楽しいものです。一人でも多くの人に、その楽しさを知ってほしいですね」と話します。

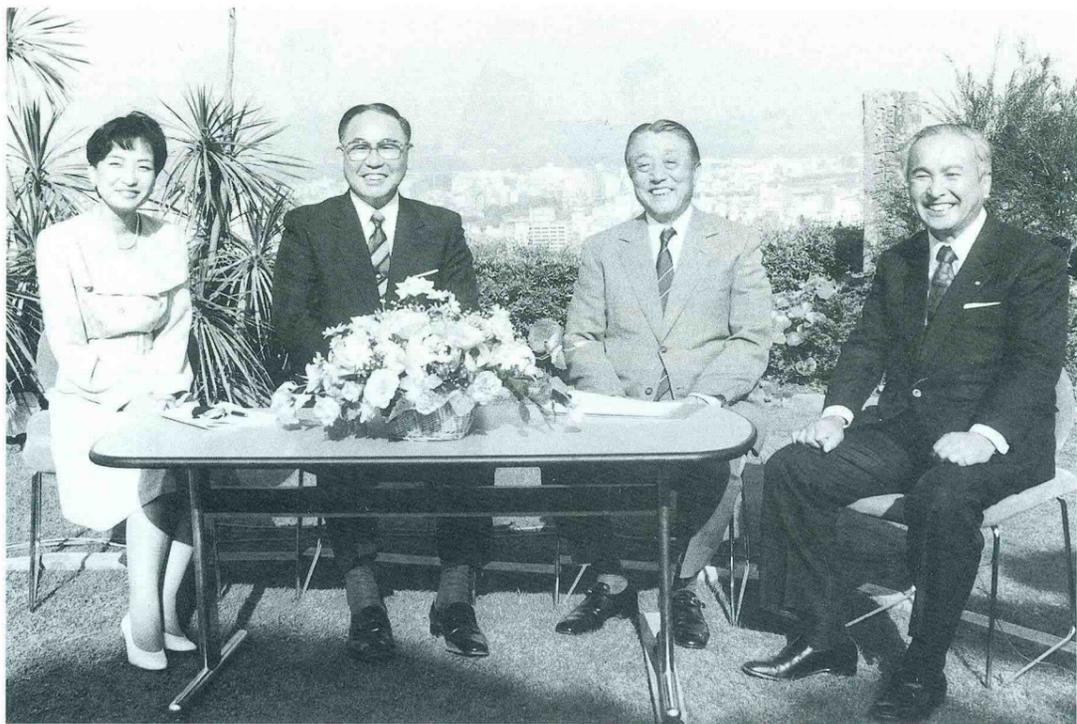
秋のチャリティー発表会を前に、月二回の練習にも次第に熱が入りますが、お子さん連れで参加する人もいて、終始和やかな雰囲気です。まるで一つの家族のように和気あいあいとした、まさに「ファミリー」という言葉がピッタリといえます。



「市民のひろば」はMBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日は三十分間放送。
 (この番組は、平成元年四月二十三日に放映したものです。)

『新たな飛躍に向けて』

鹿児島市第二世紀のスタートのとき、各界の代表者と市長がこれからのまちづくりについて語り合います。



- 出演者 (敬称略)
- | | |
|---------|------------|
| 三 弘 則 子 | 鹿児島商工会議所会頭 |
| 福 昭 義 知 | 鹿児島大学学長 |
| 崎 形 崎 野 | 鹿児島市長 |
| 岩 井 赤 上 | 司 会 |

の発展を考えますと、感慨深いと思います。

岩崎 すばらしいところからの眺めは格別です。

井形 まち全体が活気を帯びて来ましたね。外国の方がみえても鹿児島ほど強烈な個性を持ったところは少ない、もつと世界中にPRしろとおしかりを受けることもありです。

百周年記念式典を

終えて

上野 さて市長さん、四月一日の市制百周年記念式典は盛大に行われましたが、一連の行事を振り返っていかがでしょうか。

市長 これまでの百年の歩みを振り返るとともに、鹿児島市の今日の発展を祝い、そして次の百年へ向けて、市民の創意とエネルギーを結集しようと思った式典でした。が内外からの参加や市民各層の出席をいただいて、本当にすばらしい式典ができたと思っておりますし、いろいろな方々からのお褒め

上野 四月一日、鹿児島市は、市制百周年を迎えました。きょうは「新たな飛躍に向けて」と題して鹿児島市の二十一世紀へ向けての新しいまちづくり、そして国際交流の進め方などについてお話を伺ってまいりたいと思います。

武岡からの

すばらしい眺め

上野 今日わたしたちは武岡の高台にいます。市長さんここから市内の眺めは最高ですね。

市長 そうですね。まさに、すばらしいの一言に尽きます。錦江湾、桜島、市街地のどれをとっても言葉に言い表せない風景ですね。昭和二十年の焼け野原から

の言葉をいただいたいへん喜んでおります。

百年という節目を迎え、二十一世紀を目前にしたこの大切なときに、市政の舵取り役をお任せいただいているわけですので、鹿児島市の栄光ある発展のために向けて懸命の努力をしまいたいと考えております。

二十一世紀へ向けた

まちづくり

上野 市制百周年を踏まえ、そして第二世紀へのスタートを切った鹿児島市ですが、いま鹿児島市では「市電センターポール」「歴史と文化の道」など新しいまちづくりへ向けて取り組みが進められておりますね。そこで、これからのまちづくりについてお聞かせください。

市長 これからのまちづくりは、単にまち自体が大きくなるのではなく、個性を持ったまちづくりとして、質的に充実をするようなまちへと発展していかねければならないと思います。錦江湾、桜島、それを生かしたまちづくり、さらには鹿児島のまちは観光のまちとして発展しながら、南の玄関口としての役割を果たさなければなら

ないと思います。上野 個性的なまちづくりという

市長さんのお考えですが、井形さんはまちづくりについて、どのよう

うにお考えですか。

井形 市長さんのおっしゃるとおりだと思います。これからの二十一世紀はどのような時代になるか、わたしたちの想像をはるかに超えると思います。他の都市のまねではなく、知恵を絞って鹿児島

の特性を十分生かし、独特の発展を遂げるのが鹿児島市の将来にとって一番大切なことではないでしょうか。

上野 岩崎さんはいかがでしょう。

岩崎 まず、総合的な土地の再開発。これを大きな柱にしているいろいろな計画を進めていくことが大切だと思います。

県庁の移転問題を例にとりますと、移転する場合、周辺の交通体系をどのようにするかなど、さまざまな問題がでてきますので市だけでなく、県など各方面との協議をしながらまちの再開発について



井形さん

考えなければならぬのではないのでしょうか。

井形 これからは情報化の時代です。から時代に適合した、新幹線や海上交通、空の交通も、全部が総合的に近代化していく必要があると思います。

わたしは、以前留学するとき世界各地を船で回ったのですが、港というのはまち全体のイメージを代表する非常に重要な役割をしているんですね。それぞれの港は、それぞれ個性を持っていますし、

鹿児島の場合はどちらかといいますが、機能中心の港ですから今後はウォーターフロントも考えた鹿児島港の整備にも力を入れることも大切なことだと思います。上野 市長さん、お二人から具体

的なご意見が出されましたが、いかがですか。

市長 おっしゃるとおりだと思います。陸の交通については、岩崎さんが熱心にお考えの湾岸道路の早期実現に向けて、関係機関と共に取り組んでいかなければならないと考えておりますし、港づくりについても市民と密着した港、文化の香りが漂う港づくり、さらには国際港としての役割を十分考えた海の玄関としての整備もこれからの課題であると思います。

ウォーター

フロント開発は緊急の課題

上野 海を生かしたまちづくり、港の整備もその一つですが、最近ウォーターフロント開発が叫ばれています。井形さんはよく外国のお客さまをお迎えになられるというのですが、鹿児島の海について外国の方はどのような印象をお持ちですか。

井形 錦江湾と桜島を目の当たりにしますと、これだけの条件がそろっているのだからと海洋の利用を力を入れるべきだと言われ

ますし、さんさんとふり注ぐ太陽のある南国鹿児島にしては海に親しむ機会が少ないのではと、よく助言されますね。

上野 恵まれているだけに、気づかないところもあるんですね。岩崎さんは、鹿児島本港を含めてのウォーターフロント開発、観光との結びつきという点では、いかがですか。

岩崎 市長さんの言われた湾岸道路は経済浮揚、ウォーターフロント計画の面で重要なことだと思います。鹿児島のウォーターフロントの開発が進むにつれて、ヨットハーバー、そして大型船のふ頭などの問題もでてきます。

五年ないし十年後には、大型のクルージングの船が鹿児島港に世界のお客さまを乗せて入ってくることは確実ですから、専用のふ頭

岩崎さん





の整備は観光の面からも非常に重要なことです。また、いろいろなところから鹿児島湾ほどきれいな湾はないとお褒めの言葉をいただきますので、海を生かしたまちづくりには早く着手すべきだと、いつも感じております。

上野 そうですね。市長さん、これからは海を生かささない手はないですね。

市長 そのとおりです。サザンビア21のワールドグルメゾーンで、食事をされている光景を見て、わたし自身鹿児島はすばらしいところだなあと思いましたし、何か地中海にいる雰囲気を感じているようでしたね。

ウォーターフロント開発については鹿児島島の特性を生かしながら少しでも早く手をつけていきたいと考えていますし、七月からウォーターフロント開発課を新設しまして専門的に取り組んでまいりたいと考えています。

鹿児島島の国際化のために

幅広い国際交流を

上野 水際線（ウォーターフロント）の開発が進むにつれて、海の



赤崎市長

向こうの国

との交流も活発になってきますが、鹿児島大学にも外国からの留学生がたくさんいらしているんですね。

井形 現在世界各国から百名前後の方が留学しておりますが、それぞれ国際的な視野を持った留学生がほとんどです。鹿児島大学を留学先に選んでくださる方が多いということは、非常にありがたいことだと思えますし、一人ひとりを国際人として温かく迎えております。

上野 留学生といえますと、大都市に集中しがちですが、市長さんこれからは鹿児島大学にもたくさんきていただきたいですね。

市長 そうですね。日本で学問を学んでいただと同時に、日本人の心の温かさにも触れていただきたい、そして地方ならではの良さが鹿児島にはありますので、鹿児島

島を通じて日本は良かったなあと感じてもらいたいですね。

上野 岩崎さんは、都市間の交流という面からはいかがですか。

岩崎 いま、鹿児島市は姉妹都市（ナポリ市、パース市）友好都市（長沙市）として三都市と交流を

していますが、市長さんをお願いしたいのは、ぜひアメリカの都市と姉妹盟約を結んでいただきたい。そして、次には東南アジアへと、お考えをいただきたいと思っております。

市長 ええ。本年度の国際交流の施策は、専門の国際交流係の新設や五億円の国際交流基金の創設などを初めとしまして、国際交流の充実をさらに図ってまいりたいと

考えております。岩崎さんがおっしゃったアメリカとの姉妹都市については来年までには実現をしたかと思っておりますし、それから東南アジアへも目を向けてまいりたいと思います。

これからの大学、

産業、行政は…

上野 「新たな飛躍に向けて」と題してお話を進めてまいりましたが、最後にそれぞれのお立場で、将来の抱負をお聞かせください。

井形 ヨーロッパなどでは、都市における大学の役割が非常に大き

いんですね。鹿児島大学も国立大学としてはかなり有数の大学ですから、国際交流もさらに進め世界から注目される大学にしていきたいと考えています。

活性化に寄与するように頑張りたいと思っております。

上野 市長さん、お二人のご意見を伺っていかがでしょうか。

市長 雄大な景色を背景に、鹿児島島のトップの方お二人からこれまた雄大なご提言ご意見をいただいていたいへん参考になりました。二十一世紀へ向けた総合計画を立派に作り上げるとともに、鹿児島島のまちづくりに頑張ってもらいたいと考えております。

上野 皆さん、きょうはどうもありがとうございました。



上野さん

岩崎 鹿児島商工会議所の会館建設も着々と進んでおりますし、会館が鹿児島市のシンボルとして、さらには商工会議所全体が地域の



八口一 鹿児島島



ロイ・ジョーンズさん (イギリス)



ドイツで留学中の厚子さんと知り合い、結婚。10年前から奥さんの故郷鹿児島島に在住。

6年前に英会話学校を開き、奥さんと一緒に講師をつとめている。200人を超える生徒は、年齢も幼稚園児から70歳代の人まで幅広い。仕事をしていた一番うれしいのは、生徒の英語が上達すること。上達のコツを尋ねると、努力との答え。ドイツ語、フランス語など4カ国語を話せ

るジョーンズさんから聞くと説得力がある。

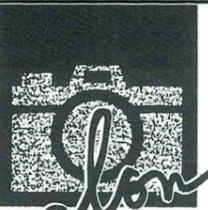
趣味はヨット、弓道、音楽鑑賞など。特に3年前から始めたヨットは、毎週1回は乗りに出掛ける熱心さ。仲間と一緒に、種子島や屋久島にも航海したと、日に焼けた顔がほころんだ。

鹿児島島への要望を、「美しい海岸を生かして、シーサイドレストランを造るなど施設の整備をしてほし

い。観光の面からも役立つのでは」と。

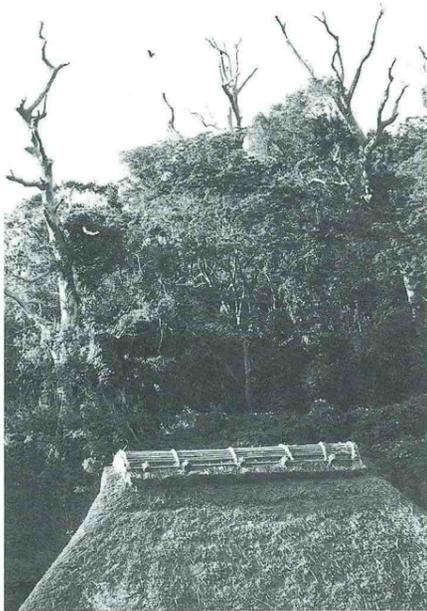
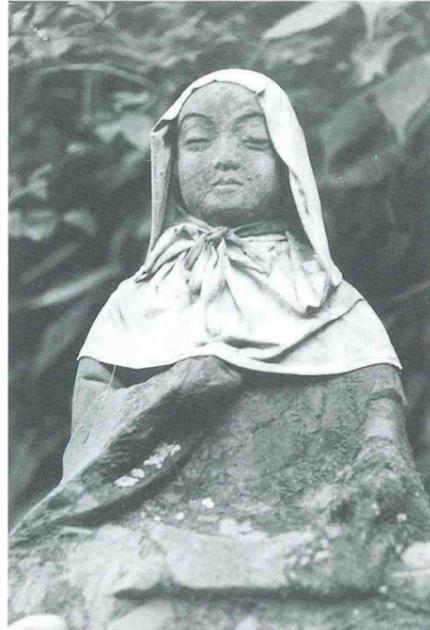
休日は、家族でピクニックやドライブを楽しむ。お父さんが大好きという一人娘のカリーナちゃんは小学2年生。国際的な幅の広い人間に育ててほしいと願っている。

誠実さがにじむ丁寧な話し方。モットーを尋ねると、「すべての人に対してフェア（公平・公正）でありたい」と即答した。



Your photosalon 1

流れる時を止めて
輝く今を残したい



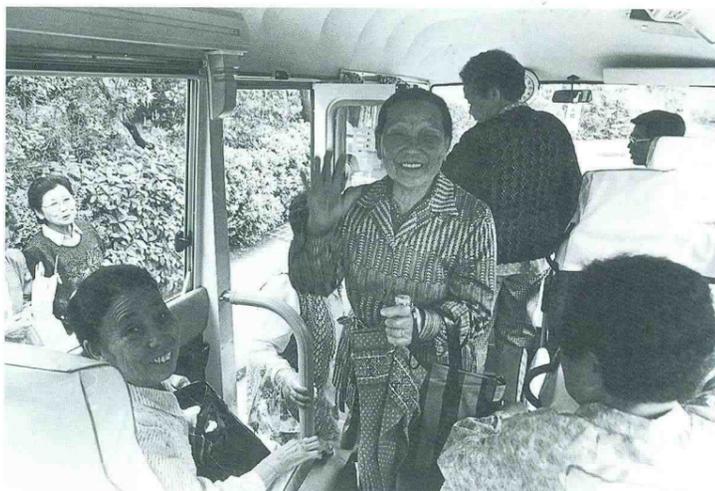
職場のサークル活動の一環として、陸上、野球、英会話、写真など八つの部があります。

わが写真部（桜影会）は、フレッシユマンからベテランまで、写真好き二十人の集まりです。

「流れる時を止めて、輝く今を残したい」をキャッチフレーズに活動し、年に二〜三回は独自の撮影会も開催しています。

部員の勤務地が県内一円と広範囲のため、全員が集まることはなかなか難しく、活動の多くが少数というのが実情ですが、これからでもできるだけ多くの機会をつくり、県内各地の観光名所や史跡など、幅広くチャレンジしていきたいと考えています。

写真と文ノ鹿児島銀行写真部



泰山荘デイ・サービセンター

昨年十二月、市内で二番目にオープンした「泰山荘デイ・サービセンター」(社会福祉法人松和会「皆与志町」を訪ねました。

お年寄りたちは、週一回、自宅からマイクロバスでセンターに向かいます。バスの中から和やかな会話が始まります。

健康チェックの後は、温泉を楽しむ、ゆつくりとした思い思いの時を過ごします。室内や屋外でのレクリエーション、ゲーム、手芸など、職員の親切で心のこもった指導に、お年寄りの方々も、すっかり安心し、仲間づくりも進んでいるようです。

充実した一日に思いを残しながら、バスで帰宅するお年寄りの満足げな表情が印象的でした。

今後、老人福祉が、みんなの重要な問題として地域社会の中で認識され、多様な取り組みが望まれるのではないのでしょうか。

写真と文／久保山克博



わたしの

散歩道



心和むラインにも似た甲突河畔

マスターソムリエ

池畑 文 二

結婚して一年半ほどしてから、およそ九年間、この甲突橋近くのマンションに住んでました。当時はまだホテル勤めで、天気の良い朝や休みの日など、よく子供を連れて下流の天保山付近まで散歩に出かけたものです。こうやって二人一緒に歩くのも久しぶりです。今では、季節の花々だけでなく深い緑の木立やかわいらしい彫刻も加わって、本当に散策やジョギングにも格好の場所ですね。

それにこの水辺の風景。きれいになった川の中で無心に遊ぶ子供たちなんかもいて、いつ見ても心が和みます。そういえば、この辺りは、何となく、ドイツのライン川の景色にも似て、どこか、ヨーロッパ的です。

ライン地方は、ドイツワインの故郷です。大きな川の両岸は、丘陵地帯になっていてブドウ畑が広がっています。そして、ライン川沿いの約八十キロにわたって、橋が二つしか架けられてない所があるんです。この川には、橋はない方がいい、人間がほんの少し我慢

して遠回りをし、不自由はみんな分ち合えばよい、ということなんです。とても、自然の環境や景観を大切にしているんですね。

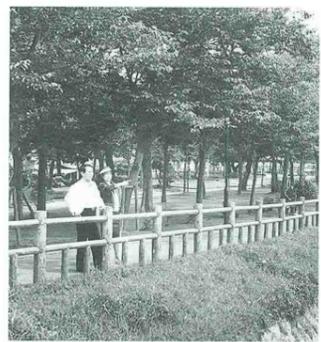
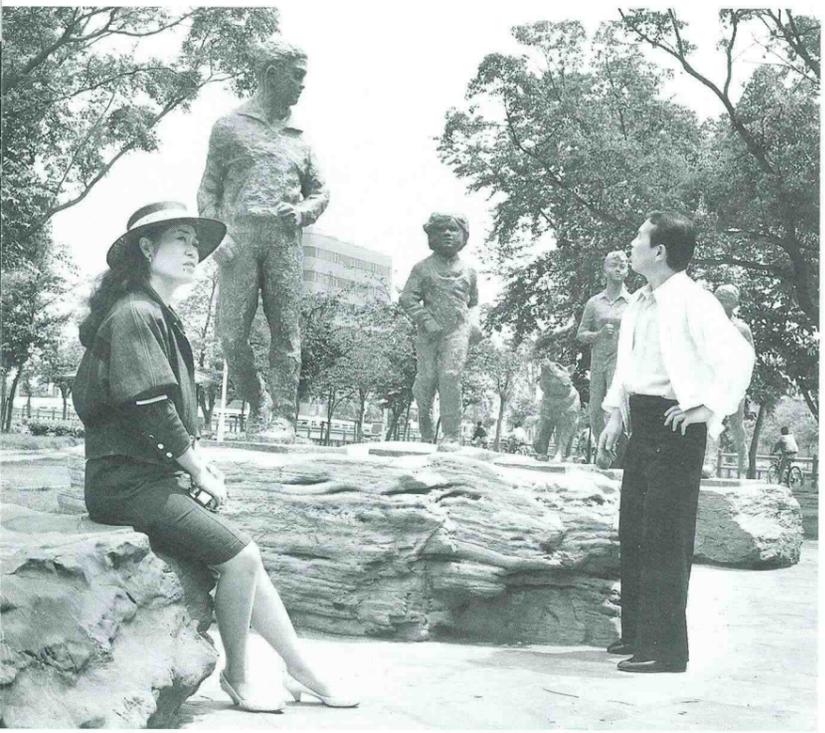
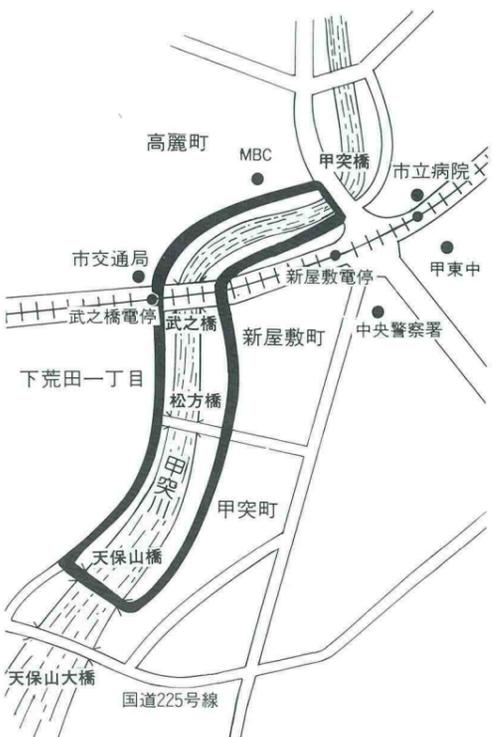
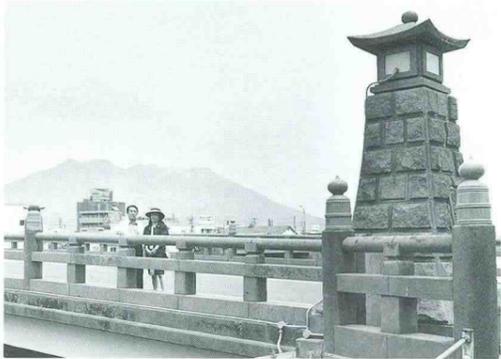
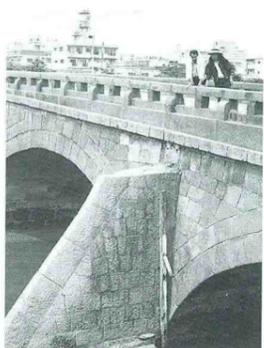
薩摩藩は、幕末の時期、パリの万国博覧会に焼酎を出品していましたが、その焼酎の国で生まれた私が、今度は、ヨーロッパで育ったワインと共に生きている。

維新期の偉人を数多く産み出したこの甲突川の河畔に来ると、そんな歴史の糸みたいなのを強く感じます。

他の酒と違って、ワインは原料のブドウから自然の作用で作られます。決して高価なものではなく、一番身近な友みたいなものです。種類もいっぱいあって、料理に合わせたいろいろな味の楽しみ方ができるのも魅力の一つですね。気の合った仲間なんかと愉快地楽しく飲むワインの味で、自分の世界も大きく広がります。

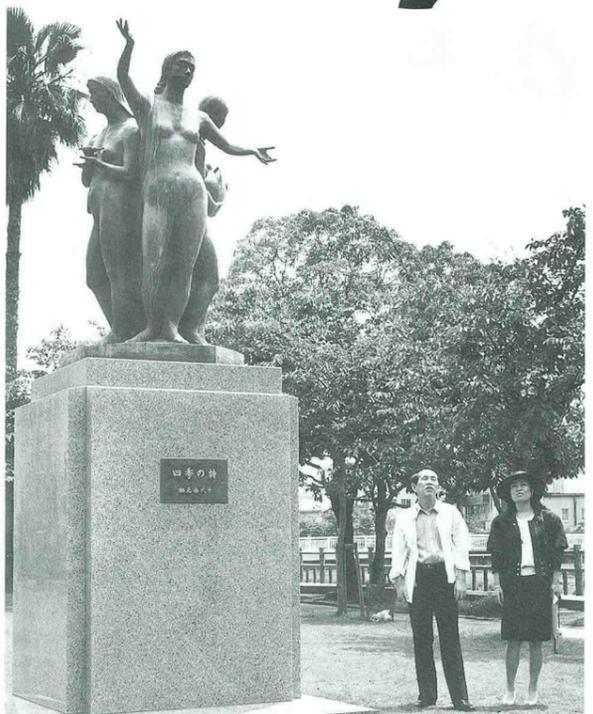
私たちの仕事は、お客さんあってのもので、そこには、ハードよりもソフトが重要です。自分自身の素直な心で接して、常に仕事に対して前向きに取り組むことです。そのためには、日ごろの研究や情報収集などは欠かせません。

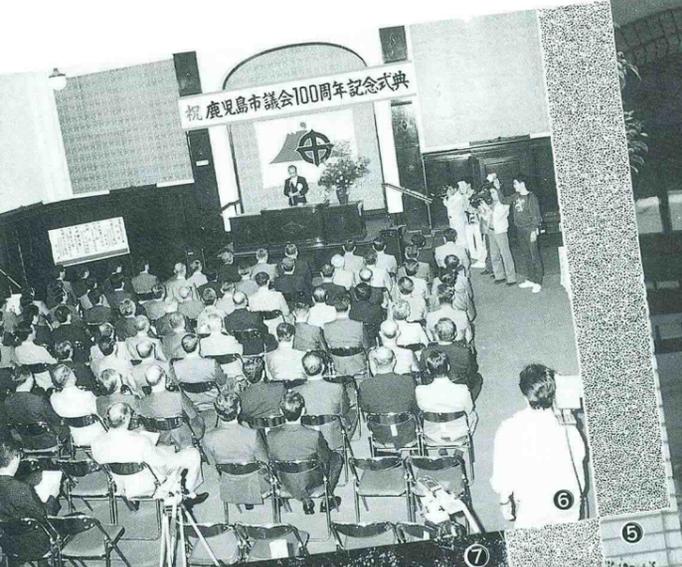
最近よく言われる「観光」にしても、よそからのお客様を真心でおもてなしするのはもちろん、もっともっと外に目を向けて、今までになかったような新しい大胆な発想をどんどん取り入れる必要があると思います。



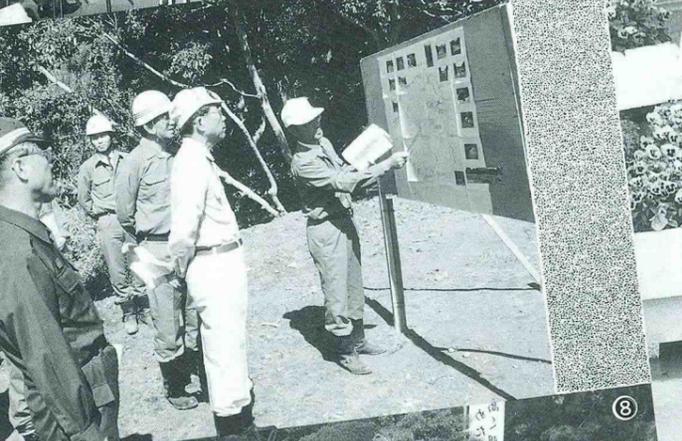
取材メモ

「ソムリエ」の仕事は、お客さんの好みや予算に合わせて、その料理にピッタリのワインを選ぶ、いわば、料理とワインの「仲人役」と言える。池畑さんの持つ「マスターソムリエ」の資格は、その最高位のもので、全国でも二十五人しかいない。ホテル勤務を辞め、「ワインケラー池畑」を開店したのが、今から七年前。佐賀県出身の奥さんの隆子さんも、ご主人の独立を機に、ワインの道へ。二年前に見事、九州初の「女性ソムリエ」に。夫婦そろってのソムリエは、全国でも一組だけ。仕事柄、海外に出掛けることも多く、去年暮れには、ホテルレストランサービス技能士の一級を取得。意欲的で、研究熱心なお二人です。





6



8



5

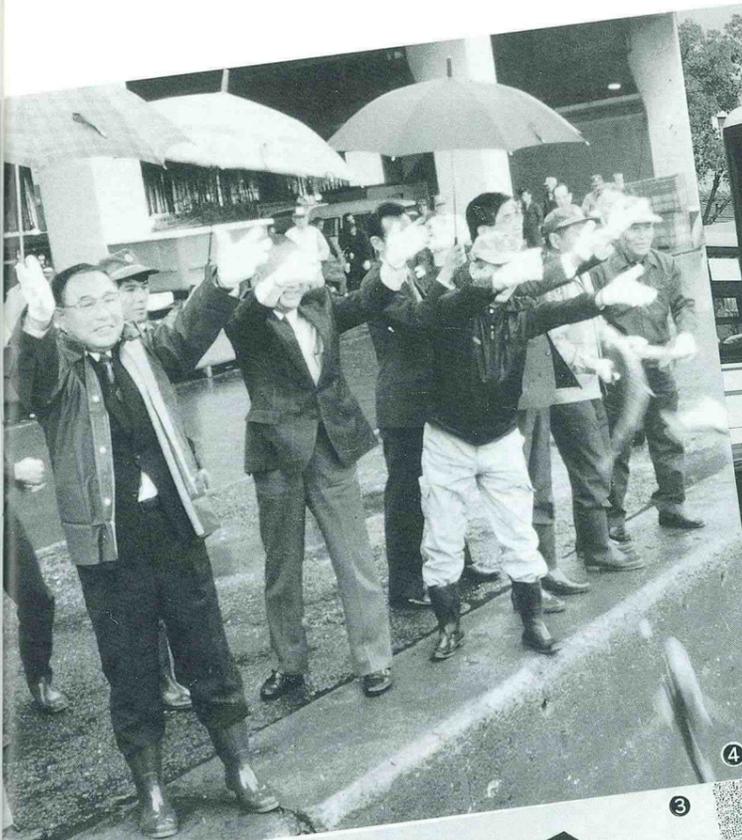
7 5月15日・梅雨の前に防災点検
梅雨入りを前に赤崎市長ら市幹部が伊敷ニュータウンや下福元町のゴルフ場造成地、桜島など13カ所の急傾斜地や山崩れ、土石流などの災害危険箇所を防災点検しました。

5 5月25日・薩摩義士の頌徳慰霊祭
木曾、長良、揖斐川の治水工事を完成させた平田勲翁ら薩摩義士947人の遺徳をしのぶ頌徳慰霊祭が平田公園で行われました。岐阜県、三重県からも125人が参列し薩摩義士の功績をたたえました。



5 5月1日・ミス鹿児島の夏服披露
ミス鹿児島3人の今年の夏の制服が発表されました。「南国のさわやかな緑」を基調に、鮮やかな白と緑の2色で統一された涼しげなマリニルック風のデザインに、ミス3人も満足気でした。

6 5月9日・市議会の100周年記念式典
市議会が開かれてから100年目にあたる5月9日、市役所講堂(旧議場)で記念式典が開かれました。式典には48人の現職議員や元議員など約120人が出席し、議会100年の歴史を振り返る一方、次の一世紀への飛躍を誓い合いました。



3

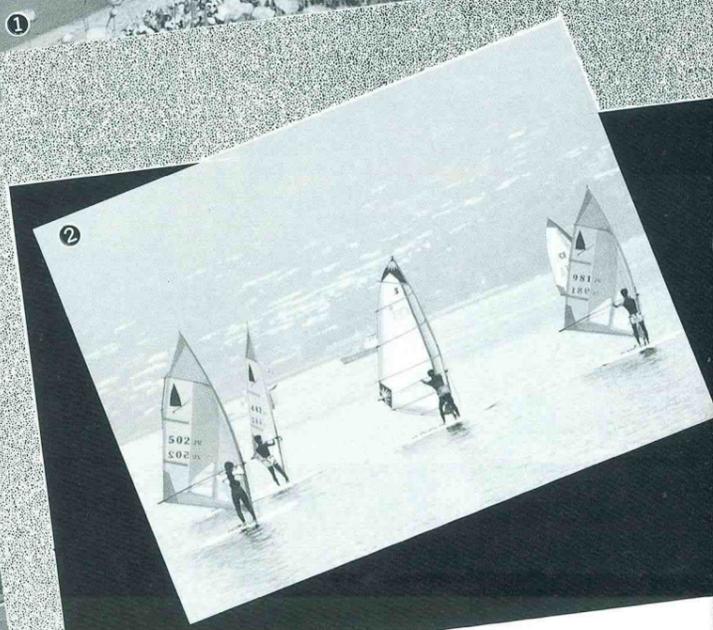


1



4 4月12日・市竹産業振興センターがオープン
本市の竹産業振興の拠点となる竹産業振興センターが完成、本市の竹産業振興の拠点となる竹産業振興センターは約80人の関係者が出席し開所式が行われました。センターは製品製造、技術講習、経営・流通の情報交換などの場として活用されます。

4 4月24日・魚類市場で魚への供養祭
日ごろ食卓をにぎわせてくれる魚に感謝する魚供養祭が魚類市場で行われました。市場関係者など約30人が参加し、市場の発展と安全を祈願したのち、マダイ20匹を海へ放流し、今年1年の豊漁を祈りました。



2

1 3月18日・新形電車の発表試乗会
交通局が26年ぶりに導入した新形電車2両の発表試乗会が鹿児島駅前電停でありました。21世紀を先取りして命名された2100形電車は、広い窓、ロングシートとロマンスシートの組み合わせなど、乗客に快適に乗っていただけると招待された関係者も満足そうでした。

2 3月25日・錦江湾で初のウインドサーフィン大会
桜島が浮かぶ波静かな錦江湾。恵まれた自然を背景に、初めての「かごしまカップウインドサーフィン大会」が開かれました。県内外から約110人が出場し、色鮮やかなセールでにぎやかなレースを繰りひろげました。



あの店この店

インド料理の店

サラ

(西千石町)

しゃれた緑の小道を抜けて中に入るとすぐに、あのカレー特有の香りが漂ってきた。こぢんまりとした店内には、インド各地の小物や敷物、民族衣装の「サリー」なども並んでいる。

ご主人は、東京で旅行会社に十五年間勤務した経験の持ち主。鹿児島初のインド料理専門店として開店して今年で三年目になる。最近、新しい店・おこしのために



と、「モーニングフォーラム」や「転勤族の妻たちの会」などユニークなサークルを始めた。参加者は主婦を中心に、サラリーマンや経営者など様々で、貴重な情報交換の場にもなっていると。 「お客さんとのふれあいを大切にしながら、できれば、アメリカにも進出したい」とご主人の夢は大きく膨らんでいる。



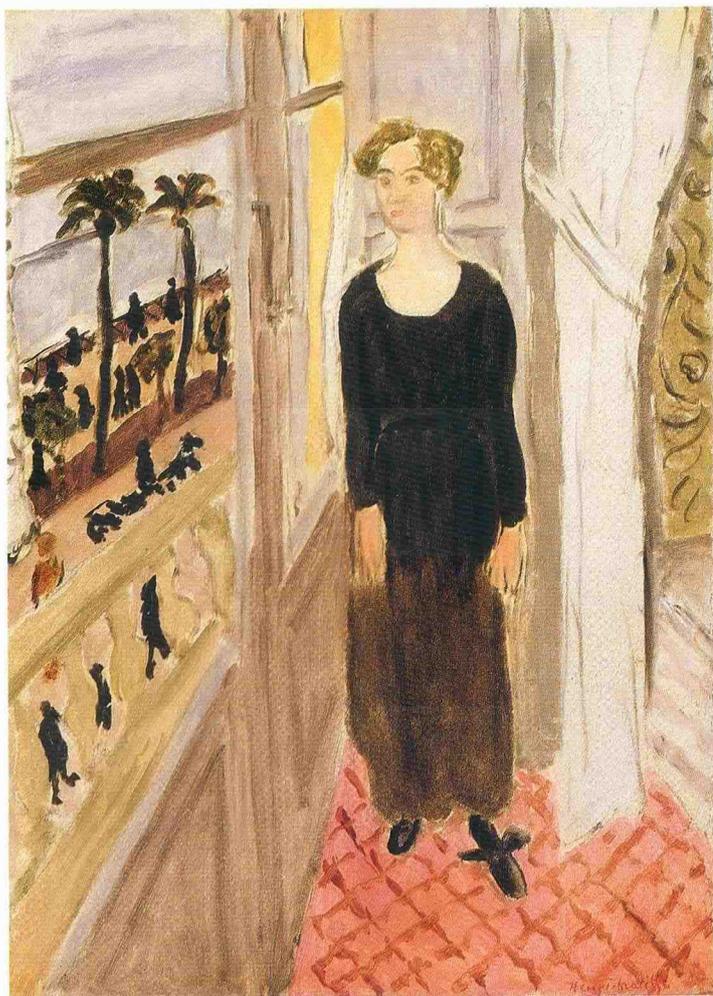
編集後記

▼日差しが一段とまぶしくなってきました。長い梅雨のカビついた気分を、早く夏の太陽でほぐしてあげたいものです。

▼鹿児島市が百歳になった誕生日を皆さんと共に祝っていただいた「市制百周年記念式典」と「ササンピア21」に参加した人もできなかった人もあの感動をもう一度思い起こし、胸に刻み込んでいただこうと、今回は、三月から五月にかけて行われた一連の百周年記念事業を特集しました。 二十一世紀へまた、次の百年へ向けて船出した鹿児島市の、今後のまちづくりを創造する礎としていただければ幸いです。

▼夏の夜、庭先などで楽しむ花火は、日本の代表的な風物詩の一つですが、線香花火などには幼いころの思い出をお持ちの方も多いことでしょう。ところで、この夏記念行事のイベントの一つとして、世界花火大会が開かれます。夏の夜空を彩る世界各国の花火の共演！ ご期待ください。

市立美術館



窓辺の婦人 (1921)

アンリー・マティス (1869~1954)

〈作者〉北フランスのカトー・カンブレジに生まれる。法律事務所で働く傍らデッサン教室に通うが、療養生活を機に画家を志す。

1893年、エコール・デ・ボザールに入学、ギュスターブ・モローの教室に入る。ここでマルケ、ルオー、マンガンらと知り合い、後のフォーヴ運動を共にする交友を得る。

1905年、サロンに仲間と共に出品した作品が大きな反響を呼び、フォーヴィズムの指導者として名声を得る。1908年ごろからはマティス独自の表現へと移行し、装飾性の強い平面的な画面、鮮烈な純色の対比、巧みな線描で国際的な地位を不動のものとした。

後半生は南仏ニースで制作を続け、「オダリスク」の連作のように、優美で写実的な作品も多く残している。



市立美術館
学芸員

赤崎年幸

〈解説〉マティスの多くの絵に共通する細かい部分の省略は、絵が画面全体に見る人の注意をひくように入念に組み立てられているということを隠している。この作品もそんな一つで、彼が半生を送ったニースのホテルの部屋と窓から見えるコート・ダジュールの海岸である。

高い視点から描かれた構図は、室内と室外とが互いに補い合い、私たちの視線を室内の人物から窓の外の風景へと導いてくれる。透視図法に基づく窓や海岸の線は遠近感を感じさせ、色数は少なく抑えられているが、色調はきわめて微妙である。モデルの黒いドレスは色彩上のアクセントとして、窓の外の人物たちと響き合っている。まるで、黒をテーマとした変奏曲が、周りの淡い色彩に調和して、繰り返し演奏されているようである。

市制100周年記念 世界花火大会

日本の花火をはじめとして
世界各国の珍しい花火の共演



期日：7月25日(火)
26日(水)
27日(木)
午後8時～9時
会場：与次郎ヶ浜

MBC 夏まつり会場周辺

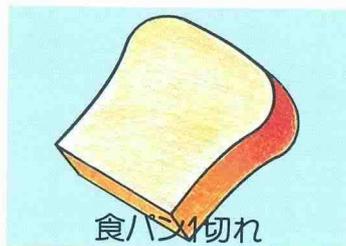
ごみ 53グラムのごみ減量を!!

—市民1人1日53gのごみ減量で年間約2億3000万円の節約—

◎53gってどれくらい?



ごはんが茶碗で半分



食パン1切れ

◎今日からできるごみ減量



水切りの励行



資源ごみ回収



生ごみはたい肥化

資源ごみ回収活動・生^{たい}ごみ堆肥化容器購入に補助金

問い合わせ 市環境事業部管理課 ☎21111